

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 パーキンソン病と関連疾患の姿勢の正常を定義する研究

【研究責任者】 神経内科診療部医師 向井洋平

【本研究の目的及び意義】

パーキンソン病や類縁疾患(多系統萎縮症、進行性核上性麻痺など)の患者には体や首が曲がる姿勢異常が合併することがあります。いまだその原因は不明な点が多く、治療法も確立していません。国立精神・神経医療研究センター病院(以下、当院)では積極的に姿勢異常の評価・治療を行っています。

上記の姿勢異常に関する論文は世界中で発表されていますが、2018年3月時点でその評価法は一定しておらず、そのため正常値も存在しません。

本研究では当院で治療中のパーキンソン病や関連疾患患者のうち、参加基準を満たした者の中で研究参加同意を得られた者を対象に全身の写真撮影を実施し、その写真をもとに頭頸部や体幹の傾きの平均値を算出し、正常値を定義します。本研究により、姿勢異常の診断が容易になります。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

① 2018年5月1日から2019年3月31日の期間に当院で診療を受けたパーキンソン病もしくはパーキンソン病類縁疾患(多系統萎縮症、進行性核上性麻痺)の患者、②立位保持が可能、③同意を得た患者、の条件を満たした方です。

利用する試料・情報等

情報等:全身写真、診療録(年齢、性別、診断名、罹病期間、Hoehn Yahr 重症度分類、治療内容)

研究期間

2018年5月1日から2019年3月31日に1回全身写真を撮影します。解析まで含めた実施期間は2018年5月1日から2020年3月31日です。

2018年3月

○問い合わせ窓口

研究担当者 国立精神神経医療研究センター病院神経内科 氏名 向井洋平

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
042-341-2712(内線)3193

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp